

石巻市複合文化施設整備基本計画（案）に対するパブリックコメント 意見一覧

番号	項目	ご意見、提案内容	本市の考え方
1	P2 の基本方針について	<p>石巻市複合文化施設整備基本計画（案）は大筋として了とする。</p> <p>しかしながら、“観光客”の立場から見て整備基本計画の基本方針について決定的に不足している点について僭越ですが、一言、提言したいと思う。今回の複合文化施設整備事業は「100 億円」と言う税金を投入するビッグプロジェクトであり、失敗は許されない。一言でいえば公共施設に対する「投資と回収」と言う熱意が感じられない。要は“売れる建築”を建設してほしい！！</p> <p>(1)人口減少、少子高齢化の進む被災地においては、地域活性化（街おこし）が政策課題の一つとなっている。地域活性化のための施策の一つとして近年、文化・芸術の公共施設を活用した地域振興策が有望である。複合文化施設の建設、アートプロジェクトの開催等により、交流人口（観光客）の増加を始めとする地域活性化に大きな成果を上げているプロジェクトが金沢市の 21 世紀美術館だ。</p> <p>「芸術文化観光主義」のすすめ</p> <p>金沢市で兼六園の横にたった一つ、あの丸い建物ができただけで、年間 200 万人、美術館を訪れる観光客がいる。その前は、兼六園を目的とした金沢観光ということで 100 万人であった。それは単に兼六園の観光客が 100 万人増えたという計算ではなく兼六園の佇まい（伝統）とあの丸い美術館（革新）との関係において金沢市が非常に現代的に歴史と現代を両方併せもつ、いわゆる</p> <p>“カッコいい都市”という印象を観光客が持つわけだ。（建築の力！！）</p> <p>(2)「都市の格」が上がるとは何だろうか？</p> <p>石巻市民が誇りを持てる芸術文化公共施設を建設しないと地域は増々衰退するだろう。要するに、まず地元の人を楽しめるような施設、誇りを持てるような芸術文化施設でなければ、よそから観光客が来るわけがないという基本方針を堅持して欲しい。そのためには、再度言うが、まず石巻市民が地元の芸術・文化複合施設を愛し、つくったものをたくさん見に行く、そしてそこから被災地復興のための元気なアイデアをだしていくべきだろう。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。今後、設計者を選定していく中で、より質の高い設計をしていただく設計者を選定して参ります。また、ハード面ばかりでなくソフト面においても、今後皆様のご意見を伺いながら進めて参りたいと考えております。</p>

		<p>又、経済的には“文化資源”こそ経済成長の源であり、新たな石巻市の経済市場を生み出す源泉になり得るのである。石巻市を復興する創造性有する人材の育成は子どものころから文化芸術に触れる機会を提供することによって可能であろう。</p> <p>又、街おこしの一環として文化センターや博物館等を建設し、国内外の優れた文化・芸術の鑑賞機会を提供することにより、石巻市の文化イメージを高め観光客誘致に成功しよう！！（都市の品格）</p> <p>(3)まとめ</p> <p>100億円という税金で運営される今回の複合文化施設を単なる「ハコモノ」で終わらせることのないようアウトリーチ活動を含めたソフトの充実が必要である。そして最低でも日本建築学会の『作品賞』を受賞することを強く期待したい。</p>	
2	施設規模について	<p>施設の規模は、従来の石巻の施設ではなく、プロの方々も公演できるものにしていただきたい。そうすれば、施設の維持管理費として、使用料も収益として見込める可能性があります。</p>	<p>大ホールにつきましては、プロの興業も含む多くのイベントが開催できる仕様として計画しております。</p>
3	運営管理について	<p>運営管理は、指定管理かどうかわかりませんが、市職員が必ず配置されるべきです。</p>	<p>運営管理については、運営方式は指定管理者制度を導入する事としておりますが、市としても施設を充分生かせる体制を今後考えていきたいと思っております。</p>
4	展示について	<p>可能であれば、オリンピック史のような展示が出来るといいですね。オープンが東京オリンピックに間に合えば、もっといいでしょうが。</p>	<p>展示については、企画展示等もありますので今後検討してまいりたいと思います。複合文化施設の開館については、事業が順調に進んでも平成33年1月以降となると予想されます。</p>

5	小ホールについて	<p>大ホールの計画は具体的でイメージしやすかった。</p> <p>小ホールは下記の点がわからなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昇降する舞台前面の広さ（特に幅） ・舞台の奥行の起点。昇降部分を含めるか否か。 ・「プロセニウム形式に対応」（P11）とあるが、大臣があるかどうか。P17には「袖舞台を十分に確保」とあるが、大臣がなければ懐を含めた袖舞台が十分に確保できるのか。 <p>一般的に私達市民が自己の芸術活動の発表をしようとする場合、大ホールは大きすぎるので小ホールを利用する可能性が高いと考える。ならば多目的に利用できるようにとの意図は理解できたが、大ホールと比べ舞台仕様・機構がはっきり示されていないような感じがした。中途半端な構造にならない様、今後の手続きを進めていただきたい。</p>	<p>ご意見有難うございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小ホール舞台昇降範囲については今後、設計段階で詳細寸法を決定してまいります。基本的に昇降する舞台の広さはアクティングエリアとして 14.4 m × 12 m を最低限確保する予定です。また、客席前面のスタッキングチェアを配置する予定のエリアについても、前舞台として使用できるよう昇降するエリアとして想定しております。 ・舞台奥行の起点は昇降部分も含める予定です。 ・十分な袖舞台の確保についても今後、設計段階で詳細に計画してまいります。大臣柱については舞台間口の広さを調整できる可動式を想定しております。そのうえで袖舞台の確保を検討することとしております。 <p>今後、設計を進めるうえで、市民の皆様のご意見を伺いながら、石巻市民の文化芸術活動の創造拠点として、また、市民の交流の場として、気軽に集える施設となるよう事業を進めていきたいと考えております。</p>
---	----------	--	--